

第2回瑞浪市市民まちづくり会議 会議録

■日時：平成29年1月30日(月) 19:00～21:00

■場所：瑞浪市役所 西分庁舎1階会議室

■出席委員

加藤博之、有賀政光、大野正博、中山征治、大森建生、橋本孝晴、渡邊勝利、
中條貴子、小林哲也、石原健嗣

欠席委員

渡邊みゆき

[敬称略]

■事務局

加藤誠二（まちづくり推進部長）

兼松美昭（市民協働課長）

横井宏之（ 〃 まちづくり支援係長）

隅田一弘（ 〃 まちづくり支援係総括主査）

■日程

1. 会長あいさつ
2. 審議事項
 - (1) 取組推進方針に基づく取組の個別検証
 - (2) 取組として疑問のあるもの、不足していると思われる取組についての検証（回答）
3. 協議事項
 - (1) まちづくり全般に関する取組検証提案について
4. その他

■議事

事務局 ただいまより、第2回瑞浪市市民まちづくり会議を開催します。会議の議長は会長が務めることとなっておりますが、冒頭部分のみ、事務局において進行をさせていただきます。私は、まちづくり推進部市民協働課長の兼松と申します。どうぞよろしく願いいたします。それでは、加藤会長よりあいさつをお願いします。

【1. 会長あいさつ】

会長 あらためまして委員の皆さま、こんばんは。お仕事でお疲れの中、また寒い中、ご出席いただきありがとうございます。この会議も回を重ねるごとに内容の濃いものとなってきました。話は移りますが、先日、陶町のまちづくり推進組織が町民対象にアンケートを実施されました。その集約結果は、少なからずショッキングな内容でした。アンケートの回答者は若者が少なく、50代以上の方が多かったようです。まちづくりの活動を問う設問では、男性は1/3くらい、女性は半数近くがまちづくりの活動を知らないとい

う回答でした。一部の人が一生懸命やっているだけでよくわからないとの回答も多く、他の地区でも個別に当たるとそういう意識の方が多いのではないかと思われま。まちづくり基本条例が施行され、少しでも多くの市民が条例のことを知り、考えていただけるとより良い瑞浪市になるのではないかと思います。議論を進めて行く上で、より多くの市民に理解がしてもらえよう、きっかけとなる会議にしたいと思います。本日も委員の皆さまには、活発なご意見をいただきますようお願いします。

事務局 ありがとうございます。本日の会議は委員11名中9名の出席、1名が所用により途中からの出席ということで連絡をいただいております。委員の過半数の出席があり、本会議の開催要件を満たしていることを報告させていただきます。これ以降は、条例の規定に従い、会長に議事を進めていただきます。加藤会長、よろしく願いいたします。

会長 レジュメに沿って議事を進めます。委員の皆さまにおかれましては、慎重な審議をお願いします。この会議は会議運営規程により、公開の会議となっています。事務局、本日の会議傍聴希望者はありますか。

事務局 ありません。

【2. 審議事項】

会長 それでは、2. 審議事項について、(1) 取組推進方針に基づく取組の個別検証について、事務局より説明をお願いします。

事務局 まず、お手元配布資料の確認をお願いします。続いて、本日の会議の進め方ですが、これまでの会議形式を改め、ご提案をいただいておりますグループワーク形式で進めて参りたいと思います。まず、各テーブルで進行役と発表者を決めてください。その後、意見交換を進めてください。時間は、目安ですが20時頃まで取ります。各テーマにかける時間配分はグループの判断にお任せします。質疑等があればその都度、お声かけください。事務局がテーブルを回ります。時間になりましたら、各テーブルで出された意見を発表してください。検証シートは、後日の提出でもかまいません。グループで統一した評価とする必要はありません。個人の意見でご記入ください。

会長 ただいま進め方について、事務局より説明をいただきましたが、ご意見、ご質問等ありますか。

<意見なし、質問なし>

会長 それでは、グループワークを始めてください。本日検証する取組みについて、事務局より説明をお願いします。

事務局 <資料に基づき説明>

【①まちづくり活動拠点施設の整備について】

【②まちづくり推進組織の活動等についての情報提供について】

【③夢づくり地域交付金に若者枠を新たに拡充について】

会長 それでは、各グループに分かれて検証を進めます。各グループで進行役と発表者を決めていただき、進行役の元、意見交換を進めてください。

<3グループに分かれ、3つの取組みについて意見交換を実施>

会長 時間になりましたので、各テーブルで出された意見等の発表をお願いします。

<1グループ発表>

①について、西分庁舎の存在そのものが広く市民に知られているのかが問題。市役所窓口へ手続きで訪れたり、選挙時に何千人もの市民が投票に訪れたりするというだけであって、多くの市民がまちづくりの拠点施設としての有効性を理解しているかどうか。役員は当然知っているが、瑞浪、土岐、明世地区に居住しているほとんどの住民は知らないのが現状ではないか。もう少しPRの工夫が必要ではないか。例えば、どういう風に施設が使用できるのか、誰が利用できるのか理解されていない。本日参加の委員も知らないのでは周知が必要と思われる。

②について、ホームページや広報みずなみでの周知について、行政は努力していると思うが、市民は閲覧することが可能なものであろうか。例えば、高齢者の方がホームページを見られるのか、見ているのか。広報も細かな内容まで見ているのか。全体の3割くらいの方は見ていないのではなかろうか。ホームページの発信は一方通行である。市が発信したところで終わり、市民からの返答はない。地域のコミュニティー活動時や、高齢者が集まるサロンなどで配布物を配布したらどうか。ホームページや広報を見ない人に対して、どのように情報提供ができるかを考える必要がある。

③について、もう少し若者の考える夢に対し、直接的に予算を付けると良いのではないか。まちづくり推進組織との連携事業に対し加算額があるということだが、若者自身が考え、実証実験ができる事業に予算を付け、若者は事業にチャレンジする。その後自分たちの成功例や実例を挙げて、まちづくり推進組織に提案する手法としたらどうか。理想かも知れないが、その方が若者の夢が活かせるのではないか。

<2グループ発表>

①について、大変良い施設が整備されたが、知らない市民が多い。施設のPRが必要である。集落支援員が各地区に配置されているとのことであったが、この市民まちづくり会議に参加していただくと良いと思う。活動状況、地域の実情や課題を聴くことで、この会議において課題解消の具体策を一緒に考えることもできるのではないか。

②について、ホームページは関心のある方しか閲覧しにこない。フェイスブックなど、情報を求めていなくても不特定多数から自然に情報が入ってくるようなものを活用する

ことも、手段としては良いのかと思います。そのためには、情報管理できる人材を育成していくことが必要です。まちづくりの活動をPRすることも必要ですが、根本的にどんな人たちが、何のためにまちづくり活動をしているのかを知ってもらうことも必要だと感じました。関心を持つ人を増やすためには、そういうページもあるといいと思います。

③について、11月のチャレンジ研究室発表会に参加できなかったまちづくり会議委員も内容がよくわかっていませんでした。いつも情報が文字ばかりであり、発表の様子を動画配信するなど、全体の流れを知りたいと思いました。映像化して市役所で来庁者向けに流すなどしてもらえると、もっとよく解ると思います。始まったばかりであり、どんな人たちが集まって、どんなことをしているのかを知ってもらうと良いと思いました。若者の事業案に予算を付けることも大事かもしれませんが、もっと若者の取組みを知ってもらうことが必要であると感じました。

< 3 グループ発表 >

①について、瑞浪、土岐、明世の3地区には、これまで集まる場所が無かったので、拠点施設が整備されたことはとても評価できます。ただ、イベント利用するには施設として物足りないと感じます。例えば集まることに関して、バスの本数など交通の利便性があまりなく、車が必要だが駐車場も少ないという点で課題があると感じます。気軽に入れる雰囲気作りも必要だと思います。私も今日初めて施設が新しくなったことを知りました。市民への周知がもっと必要だと思います。施設機能について、調理場があると良いと思いました。各地区公民館では、子どもから高齢者まで参加できる料理教室などが実施されており、この施設にも調理場が整備されれば、交流が更に深まるのではないかと思います。

②について、ホームページは興味のある人しか閲覧しません。広報は、アパート世帯の方はあまり見ていないと思います。見る機会が無い、知る機会が無い。知らない人たちにどう広めていくのか。市は情報発信をして、待っているだけの状態です。待ちの姿勢ではなく、もっと何かを発信していったら良いと思います。

③について、11月のチャレンジ研究室発表会に参加しましたが、発表された2チームの発表テーマ、内容にかなりの差があると感じました。若者の集まれる回数など諸事情もあったかと思いますが、もっとチームごとの情報交換を行って、仕上がりレベルをある程度揃えるのも良いのかと思いました。その他で交付金についてですが、今は平等配分ですが、地区毎に競争させること、切磋琢磨をするような共通のイベントを作るのも良いと考えました。切磋琢磨することにより、より良いまちづくり活動が展開されることが期待できます。

会長 ありがとうございます。本日のテーブルに分かれた話し合いでは、これまで以上に忘たんのない意見が多く出されたかと思います。他のテーブルの意見を聴かれて何か質問やご意見はありますか。

事務局 ご提案をいただきました集落支援員のこの会議への参加については、次回以降、出席

する方向で調整させていただきます。

会長 グループワークについての感想はいかがでしょう。

委員 初めてグループに分かれて意見交換をしましたが、とても意見が出しやすかったです。今後も同様の進め方を続けてほしいです。

委員 テーブルに進行役がいなくて、思ったように進みませんでした。進行役と発表者をテーブルごとに決めるのではなく、始めから指名してもらいたいです。

委員 事務局がファシリテーター役を務めてもらえると、もっとスムーズかと思います。

事務局 次回は、そのような形で行います。

会長 続きまして、(2) 取組として疑問のあるもの、不足していると思われる取組についての検証（回答）について、事務局より説明願います。

事務局 <資料に基づき説明>

会長 ただいま事務局より説明をいただきましたが、ご意見、ご質問等がありますか。

<意見なし、質問なし>

【3. 協議事項】

会長 続きまして、3. 協議事項、(1) まちづくり全般に関する取組検証提案について、事務局より説明願います。

事務局 事前アンケートにより、検証するとよいと思われるテーマについて、3つの提案をいただきました。その中から、「まちづくり推進組織における活動の担い手について」の検証を進めて行きたいと考えます。昨年の検証テーマと若干重なる部分があるかと思いますが、さらに掘り下げて検討してみたいという考えの上でご提案されたのだと推察します。他の委員さんの提案テーマを見られて、別のテーマを思いついた、あるいは、もっと肉付けができる、というようなご意見があれば、遠慮なくご提案ください。本日は時間の都合もありますので、協議は次回に持ち越したいと思います。

会長 ただいま事務局より説明をいただきましたが、ご意見、ご質問等がありますか。

<意見なし、質問なし>

会長 テーマとしては、少子高齢化の時代であり、非常に難しい問題であると考えます。協

議事項については、ここで一旦終了とさせていただきます。次回は続きを行いたいと思いますので、各自持ち帰っていただき、自分なりの意見や考えを整理しておいていただきますようお願いいたします。本日の会議全体を通して、ご意見はございますか。

委員 いつもの会議形式では、限られた人、限られた発言で終わってしまいますが、グループワークの良さは、少人数であり、発言しにくい方も発言できることではないでしょうか。今後の課題についてですが、担い手をどうしていくのか。いかに有用な人材を発掘し、いかに住民を活用していくかが重要です。情報発信については、主婦層などがみえます。この方たちにどうやって情報発信をしていただくか。出来る人がやっていく。言い方は悪いですが、いかに行政が楽をするかも重要です。住民に任せる部分も必要です。空き家・空き店舗の活用も必要です。起業したい人と所有者のジョイント。まちをどうやってつくっていくかという意味では、併せて考える必要があるかもしれません。若い人をいかに巻き込んでいくのか。今の若い方たちは、やりがいや喜びを感じれば、続けて取り組んでくれます。各世代がいかにまちづくりにおける主役になれるかが重要です。国内どこでも同じですが、一生懸命な人たちがどんどん疲労していきます。一部の人たちだけが取り組むのではなく、全市民を取り込んでいくことが重要だと思います。

【4. その他】

会長 続いて、4. その他について、事務局よりお願いします。

事務局 <今後の流れについて事務連絡>
質問があればお伺いいたします。

委員 <質問なし>

会長 最後に、有賀副会長のあいさつでこの会を閉じたいと思います。

副会長 皆さん、本日は長時間に亘りお疲れさまでした。初めてのグループワーク形式ということでしたが、活発に意見交換がされ、とても良かったと思います。会を重ねるごとに、もっと良い意見が出されることを楽しみにしています。それでは、これを持ちまして会議を閉会いたします。

【散会】